

# ヴェネツィア共和国の 「公共性」

2018年7月14日(土) 15:30~17:00  
土樋キャンパス8号館5階 押川記念ホール

アドリア海最奥部に位置するヴェネツィアは、中世初期から1797年までの約1000年間、共和政体を維持した国家であり、そこには強固な「公共」の理念があった。また水に囲まれた地理的環境から、近世(16~18世紀)には特徴的な環境政策を進めたことでも知られるが、そこでも「公共性」が重要なキーコンセプトになった。講座では、近世のヴェネツィア共和国の社会と政策が概観しながら、当時の社会と地域の「公共性」のあり方を考える。



講師

徳橋 曜 (とくはし よう) 富山大学人間発達科学部教授

1960年、東京生まれ。1985年、東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程修了(文学修士)。専門は中世・近世イタリア史。特に14~15世紀フィレンツェの社会史・環境史、および15~17世紀ヴェネツィアの環境史の研究を専門とする。最近の業績として、「15世紀イタリアの文化動向と書籍販売」『西洋中世研究』第6巻(2014)、「史料紹介 住民の福利と健康のために—中世イタリア都市の環境をめぐる史料」『歴史と地理』第701号(2016)、『キリスト教会の社会史』(共著)(彩流社2017)等。

どなたでも受講できます

申込不要  
(直接会場にお越しください)

主催：東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所  
協賛：東北学院大学研究ブランディング事業  
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

問い合わせ先：東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所  
TEL.022-264-6379  
E-mail. europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院大学 土樋キャンパス案内図

